



途別小学校の教育目標
あかるい子(徳)
かしこい子(知)
たくましい子(体)
知・徳・体をバランスよく育てよう

小中連携交流授業



2月26日(木)に、小規模校2校(途別小、古舞小)と札内の大規模校(札内南小)の交流授業が行われました。2回目となる今年度は、札内中に進学する札内北小の児童も参加しました。



小規模校の児童にとって、中学校進学前の友達づくりや大勢の人たちと過ごす雰囲気を感じ取る上で大変貴重な取組です。また、札内中学校の先生の出前授業を受けることができ、中1ギャップを緩やかにする対応も図られます。異校種の連携は、子どもたちの「学びへの安心感」を生み出す大切な取組です。

札内南小学校と札内中学校の皆様には大変お世話になりました。この取組を今後も継続していただけることを心から願います。

保育所訪問

3月10日(火)より、本校の職員が保育所におじゃまし、子どもたちと触れ合ったり、様子を見せていただいたりする「保育所訪問」の取組をスタートしました。保小連携の一環で、職員全員が交代しながら自らの目で子どもたちの情報を得、交流することによって共有化を図るといいうねらいがあります。

この取組は、より個別の指導を充実し、入学時の子どもたちの不安をできるだけ小さくすることにつながります。今後も「近くて遠い異校種」とならないよう、年間を通じて連携に努めてまいります。



ありがとう6年生
中学年のダンス



6年生を送る会

3月4日(水)に行った「6年生を送る会」では、お世話になった6年生への感謝の気持ちと、その姿を引き継いでいこうという在校生の思いが表れていました。低学年は6年生に最後の挑戦として様々なゲームを用意し、6年生を楽しませていました。中学年は1年間練習してきたリコーダーの演奏と応援メッセージを添えたダンスを披露しました。送る会の後に開いた保護者も参加の「全校給食」では、各テーブルで6年生との思い出を語り合い、お母さん方からも6年生へメッセージをいただき、心温まる時間を過ごすことができました。

在校生の思いを真摯に受け止め、笑顔で応えようとする6年生の姿が、心に強く焼き付く思い出多い会となりました。

低学年6年生に挑戦!!

高学年リアル間違い探し



教職員お笑いライブ差別

6年生を送る全校給食



福祉の学習

3月5日(木)に、幕別町民生部福祉課の方に「福祉教育」の出前授業を実施していただきました。最初に、福祉課の方から「障害とは何か?」について教えていただき、「バリアフリーやユニバーサルデザインは誰にとってもわかりやすく、役に立つ」という考え方を子どもたちは理解しました。前を歩いている人が自転車のベルに気付かない時は、「聴こえないのかもしれない。」と考え、徐行したり迂回したりする意識の大切さについても学びました。



次に、聴覚障害をおもちの丸山先生から手話を教えていただきました。絵カードを机の上に置き、先生がその中の1枚を手話で表すゲームをしました。子どもたちは楽しみながら手話への興味を深めていました。「学校で英語を教えるように手話を教えてほしい。」という先生の言葉が、今後目指すべき共生社会について示唆を与えていただきました。障害について理解を深めることが、自分自身の成長へとつながります。

福祉課の皆様、丸山先生、心に残る授業をありがとうございました。

